

## 東海道新幹線のビジネス環境整備の拡充について

東海道新幹線では、乗車前後を通してシームレスに仕事ができるなど、お客さまのワークスタイルに応じた移動時間をお過ごしいただけるよう、2021年10月より、「S Work車両」の導入や駅待合室のビジネスコーナー整備、EXサービス会員向けワークスペース事業「EXPRESS WORK」などのビジネス環境の整備を行ってきました。

このたび、N700Sの車内に試験導入する「ビジネスブース」の詳細について決定するとともに、ご好評いただいている駅待合室のビジネスコーナーを拡充することとしましたのでお知らせします。

### (1) N700S車内「ビジネスブース」の試験導入（別紙1）

- ・ N700Sの7・8号車間のデッキ部に、一時的な打ち合わせや、Web会議、電話などにも便利にご利用いただける個室タイプの「ビジネスブース」を試験的に導入します。
- ・ 室内にはテーブル、ハイチェア、コンセントなどを整備します。
- ・ N700Sの3編成に導入します。
- ・ 該当列車の運行については、当日の朝、当社のHPにてお知らせします。

使用開始時期 2022年5月9日（月）以降、順次サービスを開始

### (2) 駅待合室ビジネスコーナーの拡充（別紙2）

- ・ 駅待合室内の半個室タイプのビジネスコーナーは、既に設置している東京駅、名古屋駅、新大阪駅において、多くのお客さまにご利用いただいております。お客さまからのご好評にお応えして、品川駅、新横浜駅、京都駅の待合室に、新たにビジネスコーナーとコンセントポールを整備します。
- ・ あわせて、東京駅、名古屋駅にも追加整備します。

※東海道新幹線の全ての「のぞみ」停車駅でご利用いただけるようになります。

使用開始時期 新規整備  
品川駅、新横浜駅、京都駅 2022年7月頃

追加整備  
東京駅、名古屋駅 2022年9月頃

東海道新幹線をビジネスでご利用されるお客さまをサポートする様々な取り組みについて、特設サイトでお知らせしています。

<https://recommend.jr-central.co.jp/shinkansenbusiness/>



## (1) N700S車内「ビジネスブース」の試験導入

- ・N700Sの7・8号車間のデッキ部に、一時的な打ち合わせやWeb会議、電話などにも便利にご利用いただける個室タイプの「ビジネスブース」を試験的に導入します。
- ・室内にはテーブル、ハイチェア、コンセントなどを整備します。
- ・N700Sの3編成に導入します。

## (サービス概要)

提供区間: 東京～博多間

利用時間: 30分以内／回

利用人数: 1グループ2名まで

利用対象: 7号車ご利用のお客様

※当面の間、無料でご利用いただけます。

※該当列車の運行については、当日の朝、当社のHPIにてお知らせします。

## (ご利用方法)

- ・ご乗車後、予約システムによりご利用の順番を確保していただけます。
- ・7号車座席の案内リーフレットに記載のQRコード※から順番を確保してください。
- ・お待ちのお客様がいない場合には、ブース内のタッチパネルを直接操作してご利用いただくこともできます。
- ・順番になると、メールにてお知らせします。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



ビジネスブースイメージ



利用開始画面イメージ  
(サービス提供元: 株式会社バカン)

## (2) 駅待合室ビジネスコーナーの拡充

- ・既に設置している東京駅、名古屋駅、新大阪駅に加え、品川駅、新横浜駅、京都駅の一部の待合室に、無料の半個室タイプのビジネスコーナーとコンセントポールを整備します。
  - ・あわせて、東京駅、名古屋駅にも追加整備します。
- ⇒東海道新幹線の全ての「のぞみ」停車駅でご利用いただけるようになります。

## (整備駅・スケジュール)

## ○整備後のビジネスコーナー・コンセントポール設置数

	東京	品川	新横浜	名古屋	京都	新大阪
ビジネスコーナー	9(5)	5	4	9(5)	2	4(4)
コンセントポール	5(3)	2	2	7(5)	2	5(5)

※ ( ) は既設置数

新規整備

品川駅、新横浜駅、京都駅 2022年7月頃

追加整備

東京駅、名古屋駅 2022年9月頃



ビジネスコーナー



コンセントポール